



諏訪市のものづくり教育
「相手意識に立つものづくり科」
について








2026.9.15

諏訪市教育委員会

諏訪市のものづくり教育事始め

平成14年、諏訪市のT社より「将来のものづくりを支える人材を育てるために、ものづくり教育をやってほしい」と多額の寄付とともに持ち掛けられた。

➡ **「地域密着型ものづくり講座」の始まり**

さらに、平成16年、諏訪市に本社があるE社から「ものづくり教育、理科学習のために」と、基金が寄せられた。

「ものづくり教育推進協議会」が設置され、基本的な考え方やすすめ方、教育課程などが協議された。出された結論は、

諏訪のものづくりは、他地域が真似できない優れた技術を活かし、
世界のユーザーのために優れた製品を提供していることが肝

常に、相手やユーザーの立場に立ってものづくりに励んできた精神こそ、未来を担う子供たちに伝えたいこと（諏訪市の「ものづくり教育」で最も大事にするべきこと）である

諏訪市ものづくり教育の主な歩み

２００３年（H15）　地域密着型ものづくり講座（１１学校―２２社）の発足
２００４年（H16）　ものづくり教育奨励基金・ものづくり教育推進協議会設立
２００５年（H17）　経済産業省キャリア教育プロジェクトモデル事業に応募・採択
「ユーザー視点のものづくり」を市内全小中学校で開始
諏訪圏工業メッセに初出展・小中学生の見学開始
チャレンジショップ開始
２００６年（H18）　「ものづくりサポーター（社会人講師）制度」の新設
２００７年（H19）　「相手意識に立つものづくり科」特区の申請、11月認定
２００８年（H20）　「相手意識に立つものづくり科」（年間２５時間）
腕時計組立体験学習（６年生）　の開始
２００９年（H21）　市内全小中学校が文部科学省より「教育課程特例校」に指定
２０１０年（H22）　技能五輪・地元高等学校などとの連携が始まる
２０１１年（H23）　文部科学省へ３年次報告書を提出。教科として定着
２０１２年（H24）　文部科学省・経済産業省　キャリア教育推進連携表彰
最優秀賞受賞
２０２３年（Ｒ５）　市内全小中学校で小中一貫教育を開始したことにより、小中一貫した教育課程として編成・実施

諏訪版キャリア教育

諏訪版キャリア教育の中核

チャレンジショップの実施
出展希望学年・学級による
販売活動

工業メッセへの
出品展示・見学
小学校5年生・中学校2年生

相手意識に立つものづくり科
小学校1年～中学校3年生
夏季職員ものづくり
研修の実施
校内作品展の実施

腕時計組み立て体験学習
小学校6年生

地域密着型ものづくり講座
地元企業・諏訪市商工課と連携
小学校5年生・中学校2年生

ものづくり教育

地元の企業・地域の人材
（国型コミュニティスクール）
（地域コーディネーター・ものづくりサポーター）

「相手意識に立つものづくり科」とは？



教科として成立するまでの歩み

① 平成17年度から始まった「ユーザー視点のものづくり」が起点。
② 平成19年度、「相手意識に立つものづくり科」の新設に向けて特区申請を提出.。11月22日に認可される。
③ 平成20年度、内閣府の「教育特区制度」　文科省の「教育課程特例校制度」に則り、「相手意識に立つものづくり科」の学習開始
④平成21年度、「文科省教育課程特例校指定」として、「相手意識に立つものづくり科」を本格実施

図画工作科、美術科、技術・家庭科とは何が違うのか

〇図画工作科、美術科：願いや思いの自己表出、創造性を養う
〇技術科、家庭科：生活を工夫し、創造する資質・能力を養う
〇相手意識に立つものづくり科
　相手の願いや要望に応じて創意工夫しながら作る



「相手意識に立つものづくり科」の目指すもの

これまでのものづくり学習

＋

他者への思いやりの心の学習

- 製作そのものを中心とした
  ものづくり学習
- 体験を目的としたものづくり学習

「ものづくり」のもつ魅力

- 誰に、何を、どんなアイデアを加えて作るかを明確にした
  ものづくり学習（相手意識）
- 他者への思いやりの心の学習

他者への思いやりに立つ場（誰かのためにつくる場）

(1) 求められている資質、能力の育成（前頁参照）
(2) 使う相手の意識や視点で考える、心の育成

全人教育（キャリア教育にとどまらない）

育てたい資質・能力

相手の願いに応じて創造的・計画的に製作する（知識・理解）

①情報収集（観察、情報収集による分析）
②技術設計（技術、設計の知識習得）
③素材加工（素材材料の知識と応用加工の技）
④道具の駆使（道具の知識と加工技能の習得）

イメージをもち、相手の意見を聞きながら粘り強く製作に取り組む（思考・判断・表現）

①構想企画（アイデア創造、構想企画力）
②工程計画（計画性と見通しを持った推進）
③デザイン（表現力、デザイン力）
④説明発信（プレゼンテーションの能力）

相手の要望に近づけようとしたり、よりよい自分づくりに活かそうとしたりする（主学びに向かう態度、人間性等）

①相手理解（他者の多様性の理解）
②意識交流（コミュニケーション能力）
③共同活動（共同作業、協調性）
④共感憧れ（自分づくり、将来への見通し）

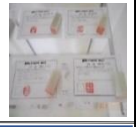
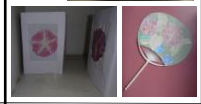
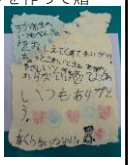


令和６年度　小・中９年間のキャリア教育の中核となる「相手意識に立つものづくり科」系統表プロトタイプ２０２４

教科の目標	①自分や相手の願いや要望に応じ、道具や材料の特性を活かしたり創造的に技能・技術を働かせたりして、計画的・効率的に製作する。 ②自分や相手の願いや要望を把握してイメージをもち、試行錯誤しながら工夫したり、相手の意見を聞いて修正したりしながら意欲的に粘り強く製作に取り組み、製作活動の喜びを味わう。 ③知識や技能を活用して相手の要望に近づくよう製品を作ろうとしたり、働いている人や支援してくれる人の姿や技能に共感し、自分の考え方や生き方、よりよい自分づくりに活かそうとしたりする。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】

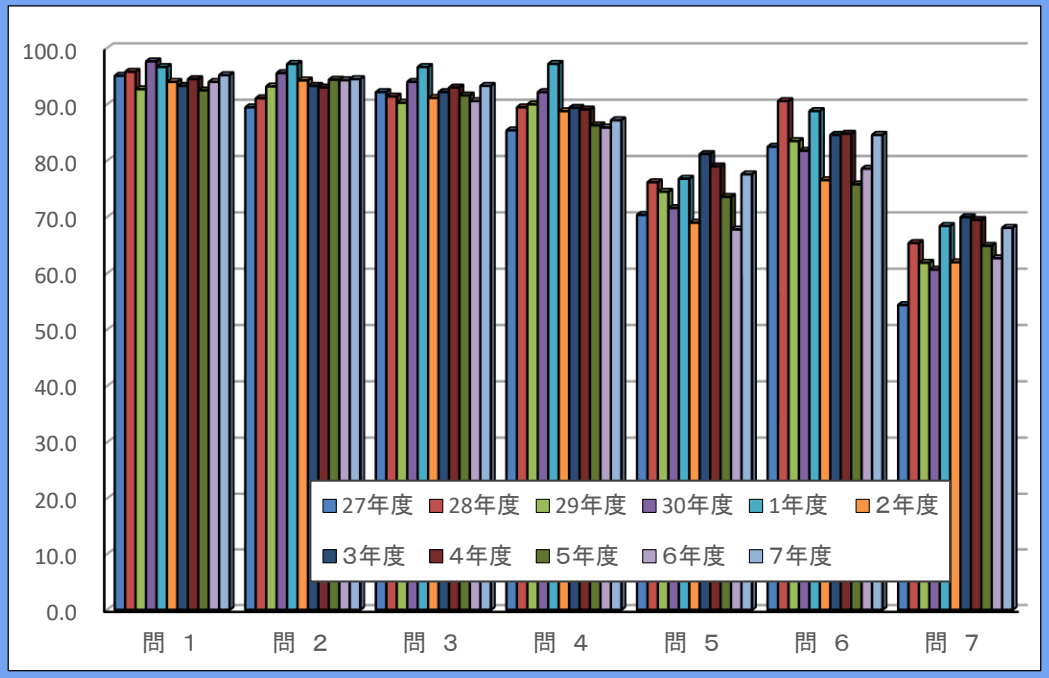
各発達段階の指導目標	基礎段階		発展段階	
	相手意識に立ったものづくりを通して、他者を温かく思いやる心の育成と技術・技能の基礎を身に付けることにより、個々の興味・関心や個性を伸ばす。【企業見学や製作体験を通し、使い手目線のものづくりの大切さを学び、製作や生活に活かすことができる】		自分を取りまく社会を見つめ、相手の要望や願いに応じて豊かで多面的な発想や工夫を生かして学びの充実と個々の興味・関心の伸長を図る。【相手に思いを寄せたものづくりを通して、地域を見つめ自己理解を深める】	
	ステップ１（小学１・２年）	ステップ２（小学３・４年）	ステップ３（小学５・６年）	ステップ４（中学１・２・３年）
各学年の指導目標	○ものづくりを楽しみ、工夫したり協力したりすることや、身近な人のためにつくる楽しさを味わいながら、夢中になってものづくりに取り組むことができる。 【身近な人のために作る】（楽しんで）	○製作の基礎的な技能を身に付けるとともに、身近な人の願いを聞き、それに合ったアイデアを活かして工夫をしながら粘り強く製作することができる。 【相手の願いに合うよう工夫して作る】（工夫を加えて）	○道具類の使い方に慣れ、技能を上達させるとともに、様々な相手の願いや要望に応じて豊かな発想や工夫を活かし、意欲的に丁寧に製作することができる。 【品質を高めるよう作る】（品質を高めて）	○小・中学校で培った道具を扱う技能や、学んだ材料等の特性を十分に活かしながら、使い手の要望や地域・社会のニーズなどを的確に取り入れ、多様な発想や工夫、思いやりの心、感謝の気持ちなどを込めて製作することができる。 【相手や地域の要望が的確に形になるよう作る】（相手や地域の要望を的確にして）
知識・技能	◆自分や相手の願いや要望に応じ、道具や材料の特性を活かしたり、創造的に技能・技術を組み合わせたりして、計画的・効率的に製作する。			
	○はさみや糊、色鉛筆、色紙、紙粘土など身近な道具や材料を使い楽しみながら作る。	○カッターや定規、彫刻刀など製作するのに必要な道具を正しく扱い、幅広い素材・材料を使って自分なりに工夫し、作る。	○鋸や糸鋸、裁縫道具等を安全で巧みに扱い、相手の願いや要望により近づくような工夫をして丁寧に作る。	○精密な工具や電動工具などの道具や材料のもつ特性を十分に理解し、効率的・的確に扱って、願いや要望が的確に形となるように作る。
思考・判断・表現	◆製作する相手の願いや要望についてイメージをもち、試行錯誤しながら工夫したり、相手の意見を聞いて修正したりしながら粘り強く製作に取り組み、製作活動の喜びを味わう。			
	○出来上がりのイメージと作り方の見通しをもって作ったり、相手への思いを伝えたりする。	○相手の願いをよく聞き、作りたいものの用途や美しさなどを考え、自分なりの工夫を加えて粘り強く作ったり工夫を伝えたりする。	○様々な相手の願いや要望や願いを十分に理解し、それに応えるための工夫を具体的に考えて活かし、意欲的に粘り強く作ったり意図を伝えたりする。	○使い手の要望や地域・社会のニーズを的確に把握し、用途や使いやすさなどを考えて創意工夫しながら計画的、効率的に製品作りを行ったり地域に発信したりする。
主体的に学習に取り組む態度	◆知識や技能を活かして、相手の願いに近づくよう製品を作ろうとしたり、働いている人や支援してくれる人の姿や技能に共感し、自分の考え方や生き方などを見返して、よりよい自分づくりをしようとする態度を育成する。			
	○友だちと協力し合ったり、身近な人に進んで質問したり、素直に聞き入れたりする自分に気付く。	○友だちやものづくりサポーター等の意欲的な姿や優れた技能などに共感し、感謝や憧れの気持ちをもったり、そのような自分に気付いたりする。	○製作活動や身近に働く人やサポーターとの交流を通して、人々が働く姿に共感するとともに、自分の考え方や製作態度、これからの生活に活かす。	○地域の産業のすばらしさやものづくりのすばらしさに気付き、自分の生活や考え方などを見返したり、将来を見据えてよりよい自分づくり・社会づくりに努める。
キャリア教育との関連 ［相手意識能力］ ①情報収集 ②相手の理解 ③意識交流 ④協働活動	○家族や友人等、身近な人への思いや願いを明確にさせて、それを具体的に表現しようと努めながら製作する。 （ア）（イ）（ウ）（エ）	○家族や友人等、身近な人の要望や好みなどを聞き、自分なりに工夫して製作したり、友だちやサポーターとのコミュニケーションに努めながら製作したりする。 （ア）（イ）（ウ）（エ）	○家族や交流の相手や姉妹学級の仲間などの要望や好みなどを細かく聞き取り、それに応じて工夫を加えて丁寧に製作したり、サポーターや仲間とのコミュニケーションや協力を図ったりしながら製作したりする。 （ア）（イ）（ウ）（エ）	○家族や交流の相手や姉妹学級の仲間などの要望や好みなどを具体的に聞き取り、それに応じた工夫や思いやりの心などを表現した作品を製作したり、サポーターや仲間とのコミュニケーションや協力を積極的に活かして質の高い作品を製作したりする。 （ア）（イ）（ウ）（エ）
［技術活用能力］ ①技術設計 ②道具の扱い ③素材加工 ④デザイン	○はさみや糊の使い方や接着の仕方など、見本的な技能や技術を身につけ、作り方を工夫して製作する。 （イ）（ウ）	○カッターや定規などの基本的な道具の使い方を身につけ、作りたいものの用途や美しさなどを自分なりに考え、工夫を加えて粘り強く製作する。 （イ）（ウ）	○のこぎり等の道具の特性が分かり、使い方に慣れ、製作の技能を上達させながら、豊かな発想や工夫を生かして美しく、丁寧に製作する。 （イ）（ウ）	○道具や材料の特性を活かし、技能・技術を創造的に働かせて、自分や相手の願いや要望に応じた工夫を加えて計画的、効率的に製作する。 （イ）（ウ）
［実践応用能力］ ①構想企画 ②工程計画 ③説明説得 ④環境安全 ⑤評価改善	○出来上がりのイメージや製作の手順を考えて製作に取り組み、二度づくりを通して改善する力や工夫する力を養い、ものづくりを楽しみ、夢中になって製作する。 （イ）（ウ）	○製作物の完成イメージや製作の手順等を明確にして製作に取り組み、二度づくりを通して工夫する力や改善する力の向上を図り、質の高い作品を粘り強く製作する。 （イ）（ウ）	○製作物の出来上がり予想図や寸法などが入った図面等を描いたり、製作の手順を明確にしたりするなど、構想や企画の力を身につけ、二度づくりを通して計画性や工夫・改善する力の向上を図り、ていねいに製作する。 （イ）（ウ）	○完成予想図や正確な図面などを描き、工夫点や改善点を明確にして製作することを通して構想力や企画力の向上を図り、作品のプレゼンテーション能力や的確に評価する力等を身につけ、計画的・効率的に製作する。 （イ）（ウ）
	（ア）：人間関係・社会形成能力　（イ）：自己理解・自己管理能力　（ウ）：課題対応　（エ）：キャリアプランニング能力　内容の詳細は、裏面参照			
評価の観点 知識・技能	はさみや糊、色鉛筆、色紙、紙粘土など身近な道具や材料を使い、楽しみながら作っている。	カッターや定規、彫刻刀など製作するのに必要な道具を正しく扱い、幅広い素材・材料を使って自分なりに工夫し、作っている。	鋸や糸鋸、裁縫道具等を安全で巧みに扱い、相手の願いや要望により近づくような工夫をして丁寧に作っている。	精密な工具や電動工具などの道具や材料のもつ特性を十分に理解し、効率的・的確に扱って、願いや要望が的確に形となるように作っている。
思考・判断・表現	身近な人のために出来上がりのイメージと作り方の見通しをもって作ったり、思いを伝えたりしている。	相手の願いをよく聞き、作りたいものの用途や美しさなどを考え、自分なりの工夫を加えて粘り強く作ったり工夫を伝えたりしている。	様々な相手の願いや要望や願いを十分に理解し、それに応えるための工夫を具体的に考えて活かし、意欲的に粘り強く作ったり意図を伝えたりしている。	使い手の要望や地域・社会のニーズを的確に把握し、用途や使いやすさなどを考えて創意工夫しながら計画的、効率的に製品作りを行ったり地域に発信したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	友だちと協力したり、身近な人に進んで質問したり、助言を素直に聞き入れたりしながら夢中になって製作する自分に気付いている。	友だちやものづくりサポーターとすすんでかかわり、優れたアイデアや技能などに共感するとともに、感謝や憧れの気持ちをもつ自分に気付いている。	製作活動や身近に働く人やサポーターとの交流を通して、人々が働く姿に共感するとともに、自分の考え方や製作態度、これからの生活に活かそうとしている。	地域の産業やものづくりのすばらしさに気付き、自分の生活や考え方などを見返したり、将来を見据えてよりよい自分づくり・社会づくりに努めようとしたりしている。

令和６年度　　小・中９年間のキャリア教育の中核となる「相手意識に立つものづくり科」実践例

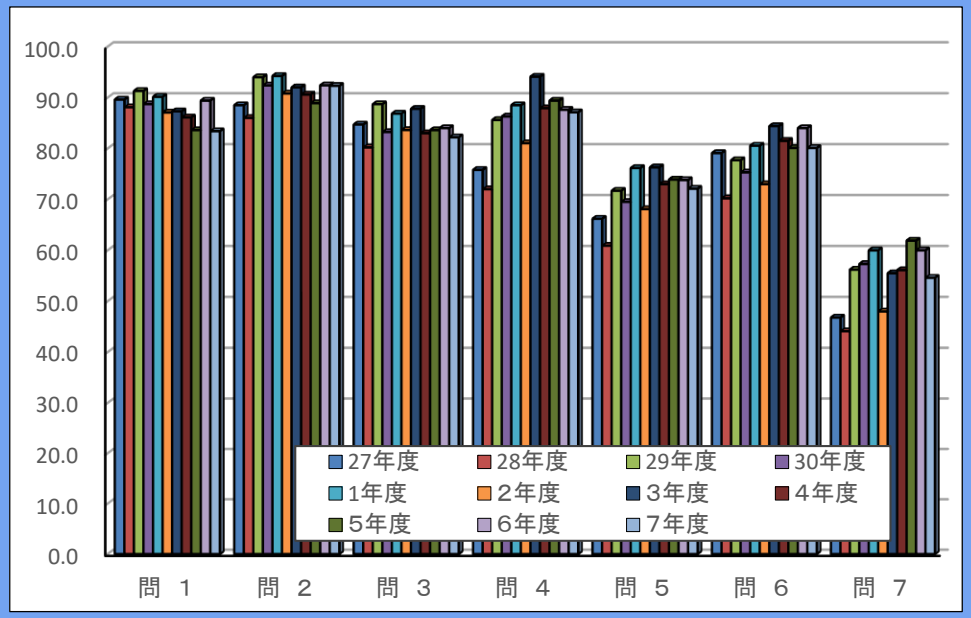
題材例	小１学年	小２学年	小３学年	小４学年	小５学年	小６学年	中１学年	中２学年	中３学年
教：主に教科との連携例	**家族に運動会や音楽会、参観日の招待状を作ろう（教/図工）** 招待するお父さんやお母さんに喜んでほしいと願い、色紙やケント紙をはさみで切ったり工夫して貼ったりしながら学年の発達段階に見合う立体物を作り、台紙に貼って招待文を書き、家族に贈る。 			**はんこをつくろう（教/図工）** 石や消しゴムなどを素材とし、様々な書体を覚えて、家族が望む文字のデザインを工夫してつくり、彫刻刀の使って安全できれいなはんこを作って家族に贈る。 	**友ペアに贈ろう（教/図）** ともペアへ、好きな色や模様、キャラクターなどを丁寧にインビューし、好みや希望に合う色やデザインなどをよく考えながら様々な材料を組み合わせてコースターやワッペン、鍋敷きなどを丁寧に作り、贈る。  	**正確な木工作品を作ろう（教/技）** 工具の特性について学習し、工具の特性を活かした加工方法を具体的に学ぶ。また、材料へのけがき、鋸引き、カンナ削り、下穴開け、組立など一連の流れを経験し、正確な作品を製作して他の題材にノウハウを活かす。 	**地元や諏訪市が抱える社会課題を知り、解決するためのものや方法を考えて製作しよう（教/技・総）** １年時の木工製品作りや２年時の防災ライト製作の技術を生かし、「センサーを活用することで人々が便利な生活を送ることができる」と考え、社会の誰かのために役立つものづくりを、プログラミングも取り入れながら考える。  
	友ペアや家族などに感謝の気持ちをこめ、身近なものを使って贈ろう（教/図工） ともペアや家族の好みの色を入れてデザインや形を考え、紙粘土や折り紙など普段使用する身近な材料を使って、自分の好みも入れながら風鈴やマグネット板、ランプシェードなどを作る。  	**フォトフレームを作ろう（教/図工）** 家族にインタビューし、要望や自分の思いをもとに、相手意識をもちながら用途に合わせた寸法を考えたり、フレームのデザインを考えたりして写真立てを作る。 						
生・総 主に生活科、総合的な学習の時間との連携例	**「わたしのあさがおさん」でつくろう（生）（地）** 愛情をもって育ててきたアサガオの蔓や花を使い、リースやうちわなどを作って家に飾ったり地域の行事で使ってもら  	**紙すきをして、お世話になっている人に作ろう（生）** 牛乳パックを漉いて紙を作り、インタビューした相手の好みの色や模様をもとに、喜んでもらえるようなしおりやはがきを作って贈る。 	**折染めをして作ろう（総）** 和紙に染料を染みこませることで偶然できる模様や色合いを生かし、家族の要望を取り入れて、日常的に使ってもらえるクリアファイルやうちわなどを作る。 	**段ボールやフェルトで作ろう（総）** 総合(畑の活動)でお世話になった地域ボランティアへのお礼として、デザインを工夫し，丁寧に切ったり織ったりしてコースターやマスコットを作り、ラッピングして感謝 	**正月の飾りを作ろう（総）** 米作りで出た藁を使い、正月の飾りを飾る家族の気持ちを考えて、縁起の良いものであることを意識しながらしめ飾りや輪〆などを美しく丁寧に作り、家に飾ったりお世話になった方へ贈ったりする。 	**縫ったり染めたりして作ろう（総）** ５・６年の家庭科学習で培ったミシンの使い方を生かし、送る人に喜んでもらえるようなデザインや模様を考え、心を込めてランチョマットや猫ばさみなどを縫うことができ 	**要望に合った製品を作ろう（教/技）** 家にあるものや店で販売している家具はどんな構造になっているのか、強度や使い勝手などの視点から考えるとともに、使用者からの要望を聞き取り、快適な工夫を考え格  	**カリンを栽培・加工しよう（教/家）** 校内に植えられているカリンを栽培し、その実を使って様々な製品に加工することを通して、製品やサービスを届ける相手を意識しながら、  識や技 関する	**６年生に木工作品を贈ろう（総）** 次年度入学する６年生に向けて、これまでに培った木工製品製作や塗装技術を生かして立体パズルやミニジェンカ  に評価 中学校 の期待	
地：主に地域との連携例	**保育園・幼稚園や他校の友だちにプレゼントしよう（地）** 交流する園児や同じ中学校区の友だちの好きな色や絵柄を聞き、それをもとに、相手が喜んだり年長児が学校を楽しみになってくれたりするものを作る。また、作品の感想を伝え合う。 	**木や竹を使って作ろう（地）** 贈る相手の手の大きさにあった長さや、好みのデザイン、滑り止めの有無、ニーズなど様々な要件を考え、地域ボランティアに道具の扱い塗付の仕方を指導してもらって箸や門松などを作る。 	**クラフトテープで作ろう（地）** クラフトテープで小物入れやかごを作る方法を地域の名人から学び、丁寧に製作をすることで、強さや美しさを備えた物入れをつくり、家族や地域のみなさんに使ってもらう。 	**地域密着型ものづくり講座①（ア)(ウ)(エ)** 諏訪のものづくりの歴史や精神について学んだ上で、企業を見学したり話を聞いたり、実際に商品を作ったりすることを通して、企業が生産する製品が生まれるまでの過程や高度な品質を知り、尊敬の気持ちをもつとともに、学んだ体験を学校でのものづくりに活かす 		**地域密着型ものづくり講座②（ア)(ウ)(エ)** 諏訪地域で操業している企業を訪問して仕事の様子を見学したり、機器を用いて実際に製品作りを行ったりすることを通して、企業が生産する製品が生み出される高度な技術を肌で感じたり、自分が就職する際の選択肢として視野に入れたりする。 	**お世話になった地域の施設に恩返ししよう　- 卒業制作 -（総）** 地域の方々が要望する物の製作を請け負い、どんな人にどのような場所で使われるのかを聞き取ってデザインや寸法を決め出し、一連の工程を経て、細部まで配慮したレベルの高い製品に 仕上げる技術 を身に付ける また、過去に 製作した贈呈 品の劣化を修 繕する。 
「相手意識に立つものづくり科」の取組を補完し、キャリア発達を促す活動	**キャリア教育で育成すべき「基礎的・汎用的能力」** **（ア）人** 多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・共働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力。 **（イ）自己理解・自己管理能力** 自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ今後の成長のために進んで学ぼうとする力。 **（ウ）課題対応能力** 仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決できる力。 **（エ）キャリアプランニング能力** 「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力。 参考：小学校キャリア教育の手引き（2022年3月） 中学校キャリア教育の手引き（2011年3月）			**チャレンジショップ(より多様な相手を対象として販売活動を行うことで、ものづくり学習のレベルアップを図り、自らを振り返り、考える)（ア)(イ)(ウ)(エ)** ・商品の企画・製作・販売等の活動を通して社会を見る、社会を知る機会とするとともに、商品の質の向上を図る、商品価値に見合う価格を設定するSDGsの視点を取り入れるなど、「相手意識に立つものづくり科」のねらいに迫り、育ちに応じたキャリア形成をステップアップする機会とする。 ・工夫、苦労して製作した商品を製作し、売る活動を行うことを通して、相手に喜んでもらうことで自分自身もうれしくなることを実感するとともに、簡単には売れない厳しさも実感することで、立ち止まって振り返ったり、自分のありようを考えたりする機会とする。    **諏訪圏工業メッセ見学①（ア)(ウ)(エ)** 国内最大級の工業製品展示会である「諏訪圏工業メッセ」に出展し、見学することを通して、諏訪地域をはじめとする全国の企業がもつ先端技術やものづくりについて知り、ものづくりへの興味・関心を一層高めて日頃の学習に活かすとともに、そ し、誇りをもつ機会とする。  **腕時計組立体験学習(イ)** 「地域密着型ものづくり講座」で学んだことを踏まえ、腕時計組立を自ら体験することで、精密機械を組み立てることの大変さを実感し、達成感を味わうとともに、中学校進学以降のものづくり学習への意欲を培う。また、企業のものづくりに心を大事にする諏訪人としてのアイデンティティを形成する。  **諏訪圏工業メッセ見学②（ア)(ウ)(エ)** 国内最大級の工業製品展示会である「諏訪圏工業メッセ」に出展し、見学することを通して、諏訪地域をはじめとする全国の企業がもつ先端技術やものづくりに取り組む熱意を体感し、諏訪への誇りと愛着心をはぐくんだり、働くことの意味を考え、将来への希望や就職意欲を一層高めたりする。  	

成果
（令和6年度　小5児童、中2生徒アンケートから）

平成28年度～令和７年度
設問別小中別
意識の推移



小学生の意識の変遷

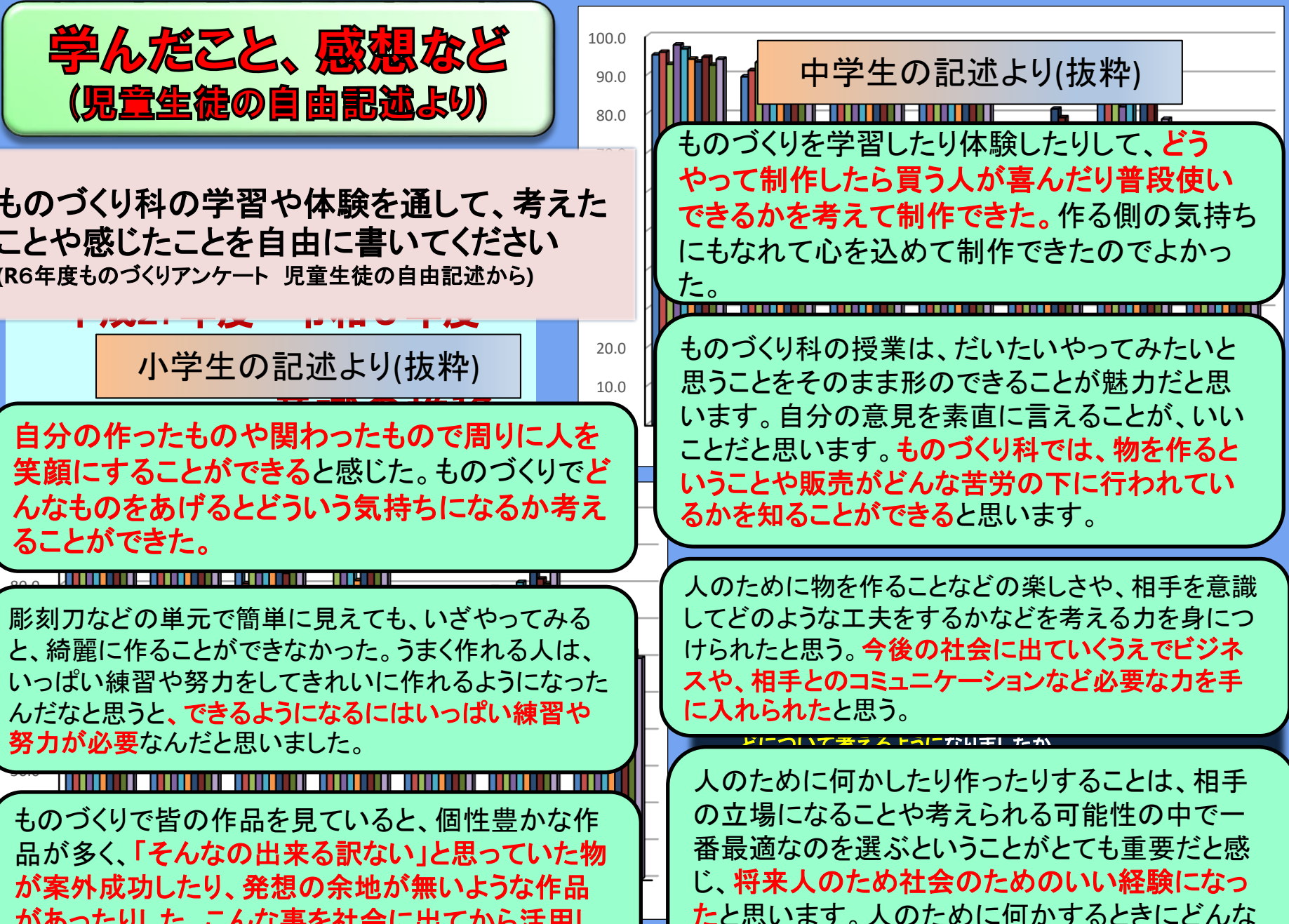


中学生の意識の変遷

問1　ものづくりや地域企業での体験はたのしいですか
問2　ものづくり学習に積極的に取り組むことができましたか
問3　学習したような製作や体験を次の学年でもしたいですか
問4　友達、家族、周りの人など相手の気持ちや願い、立場などについて考えるようになりましたか
問5　学校の勉強と職業や自分の将来などとのつながりや関係を考えるようになりましたか
問6　将来社会へ出たら「必要な力」や「大切なこと」などがわかりましたか
問7　ものづくりのことや将来の夢や目標などについて、家族や友達と話すようになりましたか

学んだこと、感想など
(児童生徒の自由記述より)

ものづくり科の学習や体験を通して、考えたことや感じたことを自由に書いてください
(R6年度ものづくりアンケート　児童生徒の自由記述から)



小学生の記述より(抜粋)

自分の作ったものや関わったもので周りに人を笑顔にすることができると感じた。ものづくりで**どんなものをあげるとどういう気持ちになるか考えることができた。**

彫刻刀などの単元で簡単に見えても、いざやってみると、綺麗に作ることができなかった。うまく作れる人は、いっぱい練習や努力をしてきれいに作れるようになったんだなと思うと、**できるようになるにはいっぱい練習や努力が必要**なんだと思いました。

ものづくりで皆の作品を見ていると、個性豊かな作品が多く、**「そんなの出来る訳ない」と思っていた物が案外成功したり、発想の余地が無いような作品があったりした。こんな事を社会に出てから活用したい**と思った。

中学生の記述より(抜粋)

ものづくりを学習したり体験したりして、**どうやって制作したら買う人が喜んだり普段使いできるかを考えて制作できた。**作る側の気持ちにもなれて心を込めて制作できたのでよかった。

ものづくり科の授業は、だいたいやってみたいと思うことをそのまま形のできることが魅力だと思います。自分の意見を素直に言えることが、いいことだと思います。**ものづくり科では、物を作るということや販売がどんな苦労の下に行われているかを知ることができる**と思います。

人のために物を作ることなどの楽しさや、相手を意識してどのような工夫をするかなどを考える力を身につけられたと思う。**今後の社会に出ていくうえでビジネスや、相手とのコミュニケーションなど必要な力を手に入れられた**と思う。

人のために何かしたり作ったりすることは、相手の立場になることや考えられる可能性の中で一番最適なのを選ぶということがとても重要だと感じ、**将来人のため社会のためのいい経験になった**と思います。人のために何かするときにどんなことに気を付けるかに活かしていきたいです。

教職員の声
「チャレンジショップ2025」の振り返りより)

「チャレンジショップ」は、「相手意識に立つものづくり科」で製作したものを、多くの方々に向けて販売する、学習成果発表の活動の一つです。

- 当日はグループごとに協力・工夫しながら取り組み、学校とは違う姿を見ることができた。
- 保護者の方以外の一般の方にも見たり購入してもらったりしたことはとても学習になった。
- とても良い経験となった。このような活動だから積極的になれる児童がいて、活躍の場を与えていただいたことが大変ありがたい。
- 自分たちが心を込めて作った物を、直接お客様に買っていただける。参加したどの子も、とても良い表情だった。とても貴重な経験をさせていただいた。
- 片づけまで全体で行うことができ，参加校全校で取り組んでいるような雰囲気で行うことができていてよかった。
- 特別支援学級の生徒だったので心配していたが、当日はテキパキと仕事をこなしたり、互いに声を掛け合って連携して作業したりと、生徒達の新しい一面を見ることが出来て良かった。

先生方が入れ替わっても、20年間脈々と受け継がれています。